

2008年3月23日

物理学会領域2役員会@近畿大学

出席者（敬称略）：石原修（領域代表、横国大）、田中和夫（領域副代表、阪大レ）、小野靖（領域元代表、東大新領域）、赤塚洋（役員、東工大）、澤田圭司（役員、信州大）、渡辺智彦（役員、核融合研）、草野完也（役員、地球シ）、比村治彦（役員、京工繊大）、石井康友（役員、原子力機構）、樋田美栄子（役員、名大）、高部英明（オブザーバー、阪大レ）

1. オブザーバー紹介

代表から、学会連合関連で高部氏をオブザーバーとして出席を求めたことが紹介された。

2. 次期世話人の選定（4/12 締め切り）

現世話人の専門領域と地域性（東京近郊が望ましい）を勘案して、次期世話人候補者として以下の3名が挙げられた。

- ・ 河村（東工大） レーザー
- ・ 利根川（東海大） プラズマ科学
- ・ 古川（東大新領域） 核融合

領域2に対してはメーリングリストにより通知して了解を得ることになった。

3. 次期副代表の選定（4/26 締め切り）

これまでの順番を勘案して、次の副代表は「核融合」から選出するのが望ましいという意見が出され、核融合研の居田氏が候補者として挙げられた。これについてもメーリングリストにより通知して了解を得ることになった。

4. 次期学会@岩手大学への準備

- ・ 次期学会のプログラム編集会議が6月13日(金)に行われるので、領域内でのプログラム下調整はこの直前に作業となる。

5. 学会連携について

- ・ 小野氏（東大新領域）より資料が配布され、高部氏（阪大レーザー）よりこれまでの経緯と内外情勢が説明された。その後フリーに意見交換がなされた。主だった意見は以下の通りである。
- ・ 8学会をまとめて開催する機会が年1回あっていい。
- ・ しかしこれを平成20年度に実現するのは、9月にICPP2008があり、2月にプラズマ科学シンポが開催される事を考え合わせると厳しいだろう。その次の次期の開催案を練っていく方がよい。

以上
比村治彦，澤田圭司

備考

音声ファイル有り。ファイル名「役員会 Mar23_2008」